

従業員向け

## 放課後等デイサービス評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		利用者1人に職員1人対応できるようになっている。 職員が休みとなったとき配置数が少なくなる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・環境設定として室温、湿度管理、換気は常に注意して行っている。 ・加湿器、浴室、洗濯機などの掃除消毒、掃除を職員全員が行えるように取り組んでいる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	感染時、体調不良時など隔離スペースがなく対応が難しい。 現状体調不良時はパーテーション、カーテン、脱衣室で対応。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		朝の会で話す機会を設けている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		担当があり研修を受ける機会があり研修を受けた人が事業所内で研修会を開いている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	毎月全員で活動の計画を立てている。 季節や個々の特性に合わせて考えている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		ホワイトボードに当日の役割担当を付けている。 朝の会で打ち合わせを兼ね確認をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	毎日必ずは時間的に難しいが振り返りは行えている。 気付いたときに声を出して対応しながら支援している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	次にどうしたらもっと良くなるか話しながら行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	2	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		声をかけながら仕草や表情を見て支援につなげている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4	連携を取りづらい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	学校迎えの際、担任の先生から情報共有をしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に事業所での様子を伝え、家での様子も教えてもらうよう心掛けている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	研修の機会を設けたり、参加を促すことは難しい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	難しいように思われる。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	事業所外では個別情報は漏らさないようにしている。 保護者様に対してスタッフの個人情報の取扱いが不十分と感じる。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	今現在食物アレルギーのある利用者様は不在。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	訓練した際には口頭でご家族に伝えている。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	

保護者向け

放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	3			少しスタッフが少ないのかなと 感じるがありました。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(*1)になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	4			1	
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	5				
	6 事業所が公表している支援プログラム(*2)は、事業所の提供する支援 内容と合っていると思いますか。	4			1	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(*3)が 作成されていると思いますか。	4			1	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	4			1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いま すか。	4			1	
	10 事業所の活動プログラム(*4)が固定化されないよう工夫されていると 思いますか。	4			1	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機 会がありますか。		2	2	1	感染対策上難しいと思う。
保護 者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	5				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	2	2	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング(*5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われて いますか。		1	1	3	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況 について共通理解ができていると思いませんか。	5				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いませんか。	5				

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	2	1	感染対策上難しいと思う
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1		2	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			3	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5				
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 はなお		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日	～	2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日	～	2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2月20日2026年		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所で安心安全に、過ごしやすい環境が整えられるよう取り組む姿勢がみられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用様の情報共有は朝の会で確実にしている。</li> <li>・居室の環境整備を今年度取組目標に掲げ対応していた。次亜塩素酸モップは朝の出勤者が行き、換気は全員で行う。水回りや加湿器フィルター清掃もこまめに行っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会での情報共有は引き続き行い、管理者はメモに残し不在の職員にも確実に情報を共有する。</li> <li>・過ごしやすい環境を整えるために清掃は特定の職員だけでなく全員が行えるように清掃担当ローテーションを行う。昨年度も目標になっていたが行えていないので清掃手順を見える化し、ローテーション表を作成する。</li> </ul>
2	利用者さんのためにと考えて支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長、管理者、主任への相談、指導を聞き取り組む姿勢がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は自分自身の課題を洗い出し目標をたてスキルアップを図るだったが行えていないため、本年度は自己の目標をスモールステップで設定し年に2回管理者と目標の達成度確認を行いスキルアップに取り組む。</li> </ul>
3			
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能型事業所はなお					公表日	2026年3月2日		
						利用児童数	6名	回収数	5名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	3	2						
	2	2	3			少しスタッフが少ないのかなと感じることがありました。	スタッフの急遽の休みなどでご迷惑をおかけする事がありますが、対応可能な限り人員確保の努力をしております。		
	3	5							
	4	4			1				
適切 な支 援の 提供	5	5							
	6	4			1				
	7	4			1				
	8	4			1				
	9	4			1				
	10	4			1				
	11			2	2	1	感染対策上難しいと思う。	現状、感染対策上交流は難しい。	
保護 者へ の説 明等	12	5							
	13	2	2	1			面談、送迎時、電話などで支援内容の説明を検討しています。		
	14		1	1	3				
	15	5							
	16	3							
	17	5							
	18			2	2	1	感染対策上難しいと思う		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1		2	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1	安全計画に基づいて修正を行いながら保護者の皆様に情報提供していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			3	定期的な避難訓練、非常時の食料の備蓄蓄電器を常備しております。避難訓練後に書面での報告を検討しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5				
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所はなお				公表日	2026年3月2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・利用者1人に職員1人対応できるようになっている。	・職員が休みとなった時は、他職員で出勤時間を変更したりフォローしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・環境設定として室温、湿度管理、換気は常に注意して行っている。 ・加湿器、浴室、洗濯機などの掃除消毒、掃除を職員全員が行えるように取り組んでいる。	・引き続き環境整備を行う上で全員周知ができるように環境整備担当をローテーションする取り組み検討中。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・感染時、体調不良時など隔離スペースがなく対応が難しい。 ・現状体調不良時はパーテーション、カーテン、脱衣室で対応。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・朝の会で話す機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・個別に話が聞けるよう管理者と送迎業務を行える様に組んでいる。 ・月1回の茶話会で意見の把握、検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		担当があり研修を受ける機会があり研修を受けた人が事業所内で研修会を開いている。	定期的に行っているが、スキルアップの為に目標設定し研修、自己研鑽必要。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	・毎月活動予定表を作成各家庭に配布している。 ・活動予定表を見やすくするため連絡帳の中に活動、献立ファイルを設置した。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	毎月全員で活動の計画を立てている。 季節や個々の特性に合わせて考えている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎月の活動計画を季節行事も含め固定しない様、また曜日も固定しないように注意している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		ホワイトボードに当日の役割担当を付けている。朝の会で打ち合わせを兼ね確認をしている。	同じ職員ばかりが担当しないように役割担当を決めていく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	毎日必ずは時間的に難しいが振り返りは行えている。気付いた時に声を出し対応しながら支援している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	次にどうしたらもっと良くなるか話しながら行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		声をかけながら仕草や表情を見て支援につなげている。	自己選択しやすい選択肢の提示、声掛けの方法を周知していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4	連携を取りづらい。	情報が不十分な場合など保護者の承諾を得て、相談員、他事業所管理者と連携を図る。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	学校迎えの際、担任の先生から情報共有をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6	就業前の対象者が不在。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		感染対策もあり交流は難しいが今後検討の余地あり。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に事業所での様子を伝え、家での様子も教えてもらうよう心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	研修の機会を設けたり、参加を促すことは難しい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	難しいように思われる。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2		HPは現在作成中
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	事業所外では個別情報は漏らさないようにしている。 保護者様に対してスタッフの個人情報の取扱が不十分と感じる。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	今現在食物アレルギーのある利用者様は不在。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	訓練した際には口頭でご家族に伝えている。	訓練の報告を書面へ行う必要性を検討。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2			